

# 『学生寮の思い出作り～素麺大会～』プロジェクト

代 表 者：医療福祉学科 3年 塩田 浩加

顧 問：医療福祉学科 教授 加賀谷 有行

## 実 施 計 画

**実施期間** 2014年8月5日（火）

**奨励金額** 62,000円

**活動目的** 学部・学科・学年の枠を取払い、プロジェクトを協働して行うことで絆を深め、企画する側、参加する側がより楽しく学生寮生活を送ることができ、寮生の思い出作りにも一役買うことを目的としています。

**達成目標** イベントを通じて、寮生同士の交流を深めること。

**計画概要**

- 5月 見積もりを依頼し、イベント実施可能か学生課に相談する
- 6月 チャンレジプロジェクトの申請を行う
- 7月 一緒にイベントを盛り上げてくれる寮生を募集する  
竹の入手先、運搬方法の確認、材料の仕入れ等を確認する
- 8月 イベントの手伝いをする寮生で打合せを行う  
イベントを開催する

## 活動・成果報告

2014年8月5日（火）18時20分からクラブハウス前で素麺大会を開催する予定でしたが、朝から天候が悪く、やむを得ず2号館8階大会議室に場所を変更し、開催することとなりました。約250人が参加し、参加者から「また、こんなイベントをしてほしい。」「今度は外でしたい。」という意見が多くありました。



## 成 長 度

### 1. どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦労がありましたか。

イベント当日、急な悪天候となり、場所の変更をしなければならなくなりました。しかし、イベント告知のポスターに雨天時のイベント開催場所を書いていなかったため、多くの寮生が中止だと思ったようでした。そのため、18時20分をすぎても参加者が数十人しかいない状態になってしまいました。

### 2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

素麺大会が2号館8階で開催されることを、知り合いの寮生やコミュニティールームにいる寮生に声をかけを行い、開催場所の変更を伝えました。そして、連絡を受けた寮生が他の寮生に連絡し、友だち同士のネットワークを駆使し、多くの寮生がこのイベントに参加することができました。

### 3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

仲間内で参加する寮生たちをできるだけ別々の場所に誘導したり、運営する学生が各テーブルに1名以上配置し話題を提供することでテーブル内でのコミュニケーションが促され、今まで話したことのない寮生が話すきっかけを提供することができました。

#### 構成メンバー（学部・学科・年次・氏名）

診療放射線学科 4年 太田雪乃、田郷紗代、丸山文美子

3年 野田ひかり、富永朱里、八尋恵美、塩田浩加、杉原美咲、上月信乃武

